

江戸川区 中小企業の景況

調査対象 製造業 164社 小売業 74社
 サービス業 58社 建設業 53社
 調査方法 面接聴取法
 調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会
 分析作成 (株) サベイリサーチセンター

2020年4～6月期(2020年6月上旬調査)

	大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降
	好調 ←			普通	→ 不調		
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

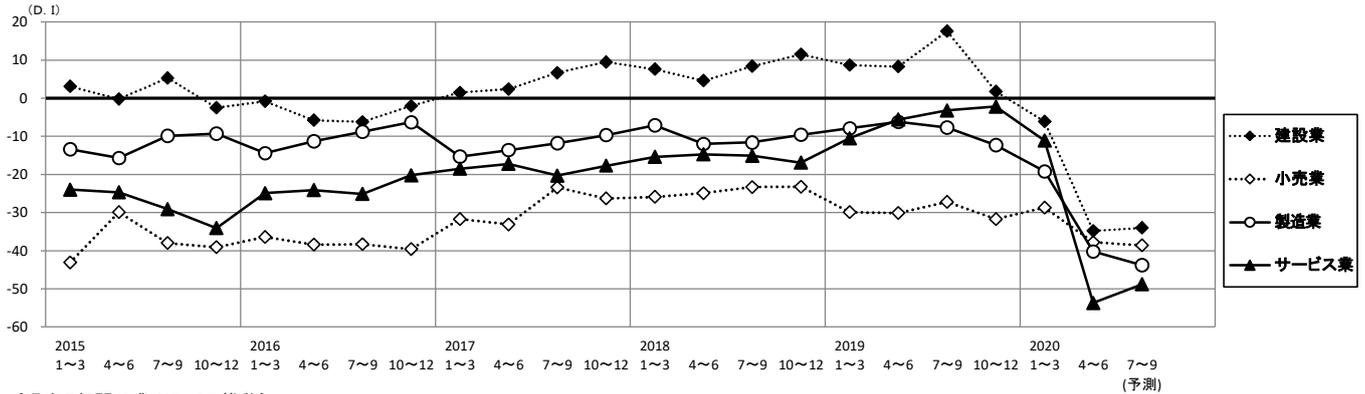
製造業	前期		<p>業況は悪化傾向が極端に強まりました。売上額、受注残、収益も減少幅が非常に大きく拡大しました。価格面では、販売価格は上昇から下降に大きく転じ、原材料価格は上昇が大幅に弱まりました。原材料在庫数量は引続き適正範囲に保たれています。</p> <p>来期の業況は悪化幅がさらに拡大すると見込んでいますが、売上額、受注残、収益はともに減少・減益幅が多少改善すると予想しています。</p>
	今期		
	来期		

小売業	前期		<p>業況は悪化傾向が大きく強まりました。売上額は極端に低迷し、収益も減少幅が大きく拡大しました。価格面では、販売価格は減少幅が大きく拡大しました。仕入価格は上昇から下降に転じたため良好感が出てきました。</p> <p>来期の業況は今期同様の悪化傾向が続きますが、売上額と収益は水面下ながらかなり持ち直すと予想しています。</p>
	今期		
	来期		

サービス業	前期		<p>業況は悪化傾向が極端に強まりました。売上額と収益も非常に大きく低迷しました。価格面では、料金価格は上昇から下降に極端に転じ、材料価格は上昇がなくなり逆に良好感が出てきました。</p> <p>来期の業況は多少改善するものの、売上額と収益は今期同様の減少・減益幅が続くと予想しています。</p>
	今期		
	来期		

建設業	前期		<p>業況は悪化傾向が極端に強まりました。売上額は増加から水面下に非常に大きく落込み、受注残と施工高は減少を非常に強めました。収益も減少幅が極端に拡大しました。価格面では、請負価格は上昇から下降に大幅に転じ、材料価格は上昇傾向が大きく弱まりました。</p> <p>来期の業況は今期同様の悪化幅で推移すると見込まれています。売上額、受注残、施工高は幾分改善し、収益はかなり持ち直すと予想しています。</p>
	今期		
	来期		

江戸川区の中小企業／業種別景況の推移



【過去5年間の業況D.I.の推移】※(D.I)=[増加回答値]-[減少回答値]

	2015				2016				2017				2018				2019				2020				
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	
製造業	-13.4	-15.7	-9.9	-9.3	-14.4	-11.3	-8.8	-6.3	-15.3	-13.6	-11.8	-9.7	-7.1	-12.0	-11.6	-9.6	-7.9	-6.2	-7.7	-12.3	-19.2	-40.2	-43.8		
小売業	-43.1	-29.9	-38.0	-39.1	-36.4	-38.4	-38.3	-39.6	-31.7	-33.1	-23.4	-26.3	-25.9	-24.9	-23.3	-23.2	-29.9	-30.1	-27.2	-31.7	-28.7	-37.8	-38.6		
サービス業	-24.0	-24.7	-29.1	-34.1	-24.9	-24.1	-25.1	-20.2	-18.5	-17.2	-20.3	-17.7	-15.4	-14.7	-15.1	-16.9	-10.5	-5.6	-3.2	-2.2	-11.1	-53.7	-48.8		
建設業	3.1	-0.2	5.3	-2.5	-0.8	-5.8	-6.2	-2.0	1.5	2.4	6.7	9.5	7.6	4.6	8.4	11.5	8.7	8.3	17.6	1.8	-6.1	-34.8	-34.0		

経営者から寄せられた声（2020年4～6月）

【景況全般について】

- ・オリンピック需要一段落とコロナ禍による新規受注停滞により、深刻な状態にある。（製造業）
- ・景気悪化、但し需要がある商品もあり、そちらに重点をシフトして対応検討中。（卸売業、小売業）
- ・4月、5月働いた日数は1.5日。6月は26日現在で9日程仕事をしているが、在庫ができる仕事でないこの先は不安。（製造業）

【受注・売上・単価・仕事量について】

- ・4月、5月は良くなかった。6月から少し動き始めた。でも前年同様になるのはまだまだ先になりそう。（建設業）
- ・6月自粛解除により控えていた移動（賃貸）、リフォーム工事が少し戻ってきた。ただし、これからはお客様の収入減が予想されるので、今後は金額・工事件数ともに減少していくと思う。（建設業）
- ・顧客の出荷量が減少しているため作業量および売り上げが急速に低下している。（運輸業、郵便業）

【経営上の課題について】

- ・コロナ禍での事業継続のため、新しいビジネスとしてオンライン化を推し進めている。（情報通信業）
- ・運送事情が悪くなり、ゆうパックの配送事情も悪くなり、同一市内でも郵便局の都合で受け付けてもらえない。お先真っ暗。（卸売業、小売業）
- ・営業に関してはweb予約を取り入れたたり、大手の広告を利用しマーケティングの要素もチェックし始めた。基本実店舗営業だが、今回の事でwebでも営業出来る事も考えて行きたい。（不動産業、物品賃貸業）

【経営改善等に向けての取組み】

- ・社員教育に取り組んでいる。（製造業）
- ・マスクや体温検査・従業員の健康管理や除菌の徹底のほか飛散防止のカウンターを設置するなど、出来ること、考えられる対策を行っている。（卸売業、小売業）
- ・RPA導入などの効率化（医療、福祉）

江戸川区の企業倒産動向（2020年4～6月）

江戸川区の企業倒産動向

(単位：件・百万円)

2020年4～6月期の江戸川区の倒産件数は、前期比70.8%減の7件（前期24件）、負債総額は同28.7%減の15億68百万円（同21億98百万円）でした。

業種別にみると、件数では“不動産業”と“宿泊業、飲食サービス業”以外の業種で各1件ずつでした。負債総額は“小売業”が12億81百万円で最も多く、次いで“建設業”の2億円ででした。

	前年同期 2019年4～6月		前期 2020年1～3月		今期 2020年4～6月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	2	330	1	10	1	200
卸売業	3	470	7	1,715	1	20
小売業	4	280	2	36	1	1,281
サービス業	3	50	3	100	1	10
建設業	4	134	7	183	1	37
不動産業	0	0	1	14	0	0
情報通信業・運輸業	1	50	1	20	1	10
宿泊業、飲食サービス業	0	0	1	20	0	0
その他	0	0	1	100	1	10
合計	17	1,314	24	2,198	7	1,568

江戸川区 生活振興部 産業振興課 計画係

TEL:03-5662-0525(直通) FAX:03-5662-0812